

感染症週報 [市内週報 平成25年第20週]

感染症発生動向調査

平成25年5月21日

平成25年第20週感染症発生状況【川崎市内】

平成25年5月13日～5月19日

5類感染症(定点把握疾患)等	全数把握疾患	届 出	累計(平成25年第1週以降)
<p>第20週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) インフルエンザでした。感染性胃腸炎は定点当たり9.24人と前週(7.00)より患者報告数は増加し、例年よりもやや高いレベルで推移しています。</p> <p>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり3.48人と前週(3.03)より患者報告数は増加し、例年よりもやや高いレベルで推移しています。</p> <p>風しんの届出が17件あり、依然として報告数は多くなっています。現在、本市では、妊娠している女性の夫などを対象に、麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)接種費用の一部助成を実施していますので、予防接種の検討をお願いします。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 2件	結核 102件
	3類感染症	なし	腸管出血性大腸菌感染症 3件(O157) パラチフス 1件
	4類感染症	なし	A型肝炎 1件、チクングニア熱 1件、デング熱 1件 マラリア 1件(三日熱)、レジオネラ症 3件(肺炎型)
	5類感染症	梅毒 1件 風しん 17件(臨床診断例2件、検査診断例15件)	アーバ赤痢 10件、ウイルス性肝炎 6件(B型5件、C型1件) 急性脳炎2件、クロイツフェルト・ヤコブ病 1件(孤発性) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 5件 後天性免疫不全症候群 6件、梅毒 9件 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件、侵襲性肺炎球菌感染症 5件 風しん 300件(臨床診断例66件、検査診断例234件) 麻しん 4件(臨床診断例2件、修飾麻しん1件、検査診断例1件) 髄膜炎菌性髄膜炎 1件



